

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2024-06-01 No. 164

株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: ISO 10605 第 3 版 2023-06 道路車両 — 静電気放電による電気妨害の試験(2/3).....	3
IEC: 新規格リスト	6
ISO: 新規格リスト	8
UNECE: 国連、サイバーセキュリティ管理規制をオートバイにも拡大: UN No. 155	9
UNECE: 第 192 回車両規制調和世界フォーラムの報告書(1/3).....	10
国際テーマ: IEEE 製品適合性技術に関する国際シンポジウムに参加しました	12
国際テーマ: キルギス共和国経由でのユーラシア適合性マーク申請における変更	13
国際テーマ: アフリカにおける太陽光由来電源用のリチウム電池の再使用	13
国際テーマ: 中国の強制 CCC 制度の適用範囲が拡大: 低電圧電気部品等	14
国際テーマ: インド関連情報: 通信機器試験・認証強制制度(MTCTE)における変更	15
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	16

USA: FCC: 非連邦政府用帯域の連邦政府による利用の拡大に関してコメントを募集	17
USA: DOE: 空冷式等の商用パッケージエアコンとヒートポンプの試験手順最終規則を発表	18
USA: DOE: 循環ポンプの規格に関する最終規則を発表: 基準への準拠は、2028/5/22 より必須	18
USA: DOE: 省エネプログラム: 最新の連邦官報による通知	19
USA: FDA: 人工知能・機械学習(AI/ML)対応医療機器リスト	19
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	20
USA: IEEE: 新規格リスト	22
カナダ: 無線標準仕様 RSS-295(116~123GHz 等の周波数帯免許不要無線機器)の第 1 版発行	23
カナダ: 無線標準仕様 RSS-216 第 3 版“ワイヤレス電力伝送”に関する意見募集	23

EU: 機械指令整合規格: 委員会実施決定 2 件が発表: フロントローダー農業機械規格等	25
EU: 機械指令ガイドの第 2.3 版が発行: 欧州機械規制 2023/1230 の規定の内容が含まれた	26
UK: UKCA マーキングに関するガイダンスなどが更新: CE マーキングを継続して承認	27
UK: 相互承認または自由貿易協定に基づく適合性評価試験に関するガイダンス	27
EU: CENELEC: 新規格リスト	28
EU: ETSI: 新規格リスト	31
オーストラリア: AS/NZS 新規格リスト	33

中国: CQC: 太陽光発電用低電圧開閉装置認証規則の更新に関する通知	34
中国: CQC: 風力発電機用ギアボックスの認証規則の改訂に関する通知	34
中国: CQC: 防爆電気製品の強制認証実施細則の改訂に関する通知	35
中国: CQC: 家庭用スマート電子電器の表示インタフェースの人間工学認証を開始する通知	35
中国: CQC: 家庭用及び類似用途電気電子製品のグリーンサウンド認証の根拠規格と実施規則	36
中国: MIIT: 900MHz 帯の無線周波数識別(RFID)機器の無線管理規定の発行に関する通知	36
中国: 新規格リスト	37
台湾: 新規格リスト	41
韓国: RRA: 放送通信機資材等の適合性評価に関する告示 改正(案): 自己適合確認制度を導入	41
韓国: RRA: 電磁波適合基準」一部改正 (案) 行政予告	42
韓国: KATS: 電気用品および生活用品安全管理運用要領一部改正告示 2024-0066 号	43
韓国: KATS: 「電気用品及び生活用品安全管理法による安全認証機関等ガイド」一部改正案	43
韓国: KS 新規格リスト	44

総務省: 太陽光発電システムを原因とする無線通信への障害防止に関する関連団体への依頼	45
総務省: 端末設備等規則等の一部改正について: 諮問第 3181 号: 緊急通報の相互接続性確保等	45
総務省: ローカル 5G の海上利用に係る技術的条件等: 委員会報告 (案) に対する意見募集	46
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2024 年 5 月分)	47
経済産業省: 世界初の「消費者事故調査」に関する国際標準が発行されました: ISO 5665	48
国土交通省: 大賞は、スバル「クロストレック/インプレッサ」〜ファイブスター大賞発表〜	48
ちょっといっふく〜小クイズコーナー 欧州機械指令の使用説明書と EC 適合宣言書について	16
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐久試験についてのご案内	24
社長の独り言	49

IEC: 規格解説: ISO 10605 第 3 版 2023-06 道路車両 – 静電気放電による電気妨害の試験(2/3)

- ISO 10605 Ed.3 2023-06 道路車両 – 静電気放電による電気妨害の試験方法が、2023-06 付けで、発行された。本規格の主要内容及び前版からの主な変更点を解説する。

UNECE: 国連、サイバーセキュリティ管理規制をオートバイにも拡大: UN No. 155

- 国連規制第 155 号の適用範囲を二輪車（車両カテゴリー L）に拡大する決定は、2024 年 6 月の採択を目標に、UNECE が主催する車両規制調和世界フォーラム (WP.29) に提出される予定である

UNECE: 第 192 回車両規制調和世界フォーラムの報告書(1/3)

- ECE/TRANS/WP.29/1177 - 第 192 回車両規制調和世界フォーラムの報告書
- 既存の規制への修正および訂正、および新しい規制への提案 – AC.1 による投票、提出された文書に対する投票の結果は、1958 年協定第 12 条および改訂 3 の付録に従って、次の表のとおりである（抜粋）。
- 現行規制への修正

No.10	電波妨害抑制装置	Suppl.3 to the 06 series
No.130	車線逸脱警報装置	01 series
No.140	ESC（横滑り防止装置）	Suppl. 6 to the original version

- 新 UN 規制

No. [171]	運転制御支援システム (DCAS)
-----------	-------------------

USA: FDA: 人工知能・機械学習(AI/ML)対応医療機器リスト

- FDA が認可した人工知能・機械学習(AI/ML)対応医療機器リストが更新された。今回の更新では 191 種の AI/ML 医療機器が追加された。今回の更新により、FDA は 882 台の AI/ML 対応医療機器を認可したことになる。

EU: 機械指令ガイドの第 2.3 版が発行: 欧州機械規制 2023/1230 の規定の内容を含むものに

- 2024 年 4 月 26 日付けで、欧州機械指令 2006/42/EC のガイドの第 2.3 版が発行された。今回の改訂では、欧州機械規制 2023/1230 の規定の内容を含むものに変更。機械規制は 2023 年 7 月 19 日から施行され、2027 年 1 月 20 日から強制となる。

総務省: 端末設備等規則等の一部改正について: 諮問第 3181 号: 緊急通報の相互接続性確保等

- 令和 5 年 7 月 18 日付け情報通信審議会答申「「ネットワークの IP 化に対応した電気通信設備に係る技術的条件」のうち「デジタル化の進展に対応した事故報告制度・電気通信設備等に係る技術的条件」（一部答申）」において、緊急通報の相互接続性確保のための電気通信設備に係る技術的条件、及び国際規格等と整合した端末設備に係る技術的条件が示された。
- 本件は、当該内容に係る事項について、関係省令の改正を行い、規定を整備するものである。これに関し、意見募集が実施されている。

IEC: 規格解説: ISO 10605 第 3 版 2023-06 道路車両 — 静電気放電による電気妨害の試験(2/3)



Summary

ISO 10605 Ed.3 2023-06 道路車両 — 静電気放電による電気妨害の試験方法が、2023-06 付けで、発行された。本規格の主要内容及び前版からの主な変更点を解説する。

さまざまな業界で一般的に使用されている、人間の静電気放電をシミュレートする試験が、自動車環境に完全には適用できないことが判明した。そのため、自動車環境に合わせた試験が、開発された。本文書は、車載電子モジュールと車両の両者に適用できる ESD 試験について説明する。

本文書は、車両での使用を目的とした電子モジュールを評価するために必要な静電気放電 (ESD) 試験方法を次の三項により、規定する。

第 8 節 部品へのイミュニティ試験方法 (通電試験)、

第 9 節 部品の梱包および取扱いの試験方法 (無通電試験)、及び、

第 10 節 車両試験方法(車両を動作させた状態での試験)。

本文書では、ベンチ上の電子モジュール、及び完成車両の両者を評価するための試験手順について説明する。

Ed.2 からの主な変更点は以下のとおり：

- コンポーネントへの直接および間接放電のためのフィールド結合板に関する代替試験セットアップの導入 (通電試験)；
- コンポーネントへの間接放電 (通電試験) に関して最小放電数が、50 から 10 に変更された、連続する単一放電の間隔が、50 ミリ秒から 1 秒に変更された； 等々

2/3

ISO 10605 Ed.3 2023-06 道路車両 — 静電気放電による電気妨害の試験方法 Road vehicles — Test methods for electrical disturbances from electrostatic discharge

先月は以下の項目を扱いました：

- 序文
- 5 試験場所
- 6 試験装置と計装
- 7 放電モード
- 8 部品へのイミュニティ試験方法 (通電試験)
 - 8.1 一般

8.3 直接放電の試験手順

8.3.1 一般

放電は、機器が通常モードで動作している状態で、指定されたすべての試験ポイントに適用すること。製品の反応が、放電の極性により影響を受ける場合がある。DUT へのその影響を判断するために、試験中に両方の極性の放電を使用すること。

8.3.2 試験のセットアップ

試験のセットアップとしては、2 つの代替の試験セットアップが、使用できる：

— GP のみを使用した試験セットアップ；

— GP とフィールド結合板を使用した試験セットアップ (Ed.3 での変更。付属文書 F から本体内に



株式会社コスモス・コーポレーション

自動車部品の耐水試験についてのご案内

当社では自動車部品に対する耐水試験が実施可能です。

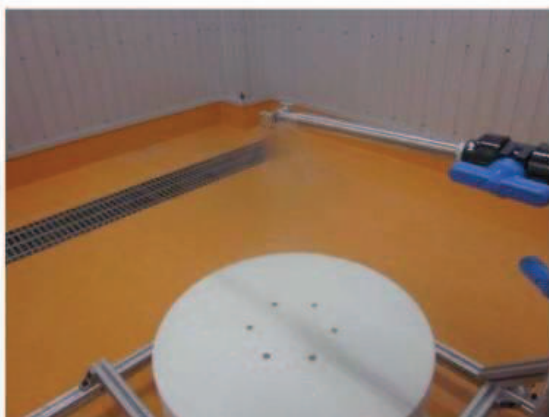
(JIS D 0203 対応)

対象試験記号: R1 / R2 / S1 / S2

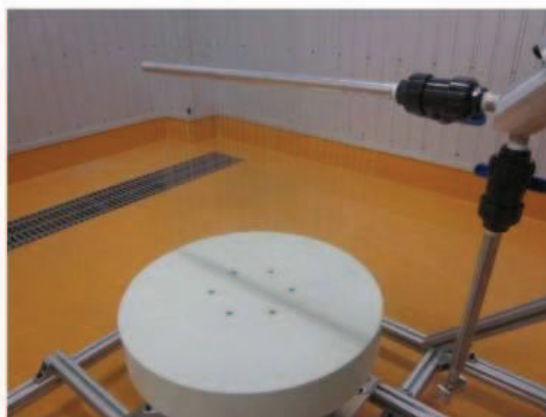
評価実施内容

散水試験	R1・・・ 水滴に触れることのある部品の機能を調べる試験
	R2・・・ 間接的に風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
噴水試験	S1・・・ 直接風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
	S2・・・ 強い受水状態について部品の機能を調べる試験

R1 及び R2



S1 及び S2



耐荷重: 45kg まで試験実施可能です。

許容サンプルサイズ: 実施可能サンプル寸法は規格に従い、基本的に 40cm の高さで設定していますが、それ以上の寸法であっても対応可能な場合もございますので、指定のサンプルサイズを事前にご連絡下さい。

松阪事業所 : 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718-1

URL : www.safetyweb.co.jp E-mail : sales@cosmos-corp.com

【お問い合わせはCS部まで -- TEL: 0598-30-5225 (直通), FAX: 0598-30-5571】

株式会社コスモス・コーポレーション

2024 年 5 月 27 日
濱口 慶一

異常気象なのでしょうか？平年よりも早く夏が到来したかのような暑さで、職場では半袖姿の社員が増えてきました。私はこの 5 月で 76 歳になりました。数え年での喜寿を祝えという声をいただくのですが、そのうちにとかわしてはいるものの、そのような年齢になってしまったのだなとしみじみ感じています。

今回は、コスモスが運営していくにあたって、これから進めたい内容について紹介したいと思います。読者の皆様方には、疑問点があれば当社の CS 部を通じてどしどしお問い合わせ下さい。

1. Original Evidence Based Safety System での管理監督

認証機関、試験・校正機関として活動している当社にとって、客観性、再現性は品質保証の根幹となります。そのため、Original Evidence Based Safety System (OEBSS、2024 年 3 月号参照)での管理監督を実施し、認証などの業務において当社が確認したエビデンスの記録をきちんと保管していきます。

2. 要員の規範

ISO/IEC 17021-1:2015 (JIS Q 17021-1:2015)、適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項の附属書 D (参考)に記載されている“望ましい個人の行動”を、上記 OEBSS を実施する要員の規範として導入します。同附属書は、製品認証機関の要求事項である ISO/IEC 17065:2012 (JIS Q 17065:2012)や試験所・校正機関の要求事項である ISO/IEC 17025:2017 (JIS Q 17025:2018)で規定される要員にも適用できると考えています。経営責任者として社員やその他関係者に大切にしてほしいのは、同附属書の a)にある、“倫理的である、すなわち、公正である、信用できる、正直である、そして分別がある”です。倫理的であることを大切にして、お客様からいただいた業務に的確に対応していきます。少しでも当社スタッフの対応に疑念を持たれた場合は、苦情として遠慮なくご連絡ください。

3. 要員の力量の判定・維持

また、ISO/IEC 17065:2012 や ISO/IEC 17025:2017 で要求される要員の力量を判定・維持するためのフローを、ISO/IEC 17021-1:2015 の附属書 C (参考)にある“力量の判定及び維持のためのプロセスフローの例”に沿ったものにします。このプロセスフローにしたがって教育訓練を受け、定期的に力量が確認、担保された技術者が、ISO/IEC 17025 に基づくシステムで試験・評価し、ISO/IEC 17065 に基づくシステムで認証業務を遂行していきます。

4. 技術相談について

認証機関として、当社に認証を希望する製品に対して事前に適用規格の適否を判断し、指導することはできませんが、他の認証機関へ申請されるお客様の製品に関しては、技術相談の形でお役に立てればと思います。ただし、ISO/CASCO (ISO 適合性評価委員会)の見解にもあるとおり、公平性に対するリスクについて慎重に検討し、リスクがある場合には解消または緩和し、社内外に確実に証明できるようにします。

趣味の養蜂ですが、自宅近くに大きなメガソーラー設備が出来たため、自然にいた日本蜜蜂がいなくなったのか？分蜂時の捕獲は成功しませんでした。冬を越した 2 群が毎日元気に蜜を探しに出かけており、戻ってくるのを楽しみ眺めています。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2024-06-01 (No. 164)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2024 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。